

DUET デュエット

2018.4
VOL.27

GUIDE DOG
MAGAZINE

特集

もっと知りたい! 盲導犬のこと
～デビューした盲導犬達 その後は?～



★募金箱設置店募集中★

認定NPO法人 全国盲導犬施設連合会 募金箱



サイズ
幅:13cm
奥行:16cm
高さ:25cm

子犬募金箱



サイズ
幅:14cm
奥行:21cm
高さ:33cm

成犬募金箱



サイズ
幅:14cm
奥行:21cm
高さ:27cm

パトラッシュ募金箱

©NIPPON ANIMATION CO., LTD.

まずは、お気軽にお電話ください。

☎ 03-5367-9770



都道府県別の盲導犬実働数

🐾 950頭 (※) 🐾

(※)全国盲導犬施設連合会に加盟していない育成団体の数字も含む

| | | | | |
|--------|---------|--------|--------|---------|
| 北海道…52 | 埼玉県…48 | 静岡県…46 | 鳥取県…4 | 佐賀県…6 |
| 青森県…6 | 千葉県…30 | 愛知県…37 | 島根県…13 | 長崎県…4 |
| 岩手県…10 | 東京都…97 | 岐阜県…7 | 岡山県…16 | 熊本県…7 |
| 宮城県…21 | 神奈川県…58 | 三重県…12 | 広島県…29 | 大分県…14 |
| 秋田県…13 | 新潟県…34 | 滋賀県…11 | 山口県…15 | 宮崎県…11 |
| 山形県…6 | 富山県…7 | 京都府…13 | 徳島県…3 | 鹿児島県…17 |
| 福島県…19 | 石川県…19 | 大阪府…63 | 香川県…7 | 沖縄県…5 |
| 茨城県…18 | 福井県…6 | 兵庫県…42 | 愛媛県…13 | |
| 栃木県…11 | 山梨県…20 | 奈良県…16 | 高知県…9 | |
| 群馬県…8 | 長野県…20 | 和歌山県…4 | 福岡県…23 | |

2017年3月31日現在

社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会 自立支援施設部会 盲導犬委員会「平成28年度 盲導犬訓練施設年次報告書」より

DUET

2018年4月発行 編集人/篠田 林歌 認定NPO法人 全国盲導犬施設連合会 発行
〒162-0065 東京都新宿区住吉町5-1 吉村ビル2階
TEL.03-5367-9770 FAX.03-5367-9771 www.gd-rengokai.jp

年1回4月発行

生後2か月頃



生後2か月から1歳になるまではパピーウォーカー(子犬を飼育するボランティア)の家庭で、愛情をこめて育ててもらいます。この期間に子犬たちは人間との信頼関係を築き、社会のマナーも学びます。

誕生



盲導犬に適した血統を持つ繁殖犬から盲導犬の候補犬は生まれます。生後2か月頃まで、母犬のもとで暮らします。

訓練スタート



1歳になると、盲導犬協会に戻ってきて、約6~12か月間、盲導犬になるための訓練を受け、その間に盲導犬としての適性が評価されます。

共同訓練



ユーザーと盲導犬は互いに協力し、パートナーとしての絆を深めていきますが、ユニットとなった後も、定期的に「フォローアップ」を受けています。

ユーザーと盲導犬 出会ってから卒業まで



共に歩く



フォローアップの内容を次ページで詳しくご紹介します



特集

もっと知りたい! 盲導犬のこと

~デビューした盲導犬達 その後は?~



盲導犬は、視覚に障害のある方の安全で快適な歩行をサポートします。

盲導犬ユーザー(※)となった視覚障害者と盲導犬は、約8年間ともに生活し、パートナーとしての絆を深めていきますが、その歩行は最初から「息がぴったり」というわけにはいきません。

そして、長年共に歩いている中でユーザーや盲導犬の健康や歩行状態、環境が変化したことに対する不安など、さまざまな課題も出てきます。

全国盲導犬施設連合会加盟の盲導犬協会では、ユーザーと盲導犬が協会での訓練を修め、卒業した後も、安全で快適に歩くことを引き続きサポートし、ユーザーと盲導犬達を見守り続けます。

(※) 盲導犬ユーザー... 盲導犬使用者のこと。以下、ユーザー。

盲導犬としての適性が認められた犬は、視覚障害者との共同訓練に入ります。視覚障害者は、盲導犬との歩き方や世話の仕方を学びます。さらに視覚障害者の生活エリアでの歩行指導も受けます。





フォローアップとは?

担当の歩行指導員が、ユーザー宅への訪問などを通じて、ユーザーと盲導犬(ユニット)の状態を把握し、適切な指導やアドバイスをすることで、ユーザーと盲導犬との安全な歩行や快適な生活が維持できるようにサポートするものです。

全国盲導犬施設連合会加盟の盲

ユーザーと盲導犬



導犬協会では、盲導犬とユーザーが訓練を修め卒業した後も、各ユニットへの定期的なフォローに取り組んでいます。「盲導犬をユーザーへ貸与したら終わり」ではありません。盲導犬の健康チェック、ユーザーと盲導犬の歩行能力の維持や向上等のため、加盟盲導犬協会では貸与後も定期的なフォローアップを行い、ユーザーも盲導犬も、「ずっと安全で楽しく歩ける」よう体制を整えています。

卒業後のフォローアップとは

どんなことをするのか?

フォローアップにはいくつか種類があり、目的や実施内容がそれぞれ少しずつ違います。

共同訓練直後、まずはユーザーの居住地域でのフォローアップを行います。協会で受けた指導を実際の居住地域で実践する為のサポートです。

その後は貸与した直後、3か月、半年等で一定期間、定期的にフォローアップを行い、現在の歩行・生活状況の確認や困っていることがないかなどをユーザーから聞きます。

貸与後一年が経過した頃からは定期的なフォローアップは一年に一度程度にはなりますが、指導員がユーザー宅の付近に出張する際、時にはユーザーのところへも立寄り様子を見に行ったり、日頃からメールや電話などでもこまめにコミュニケーションを図り、会話をすることで本人も気づかない

ユーザーと指導員 フォローアップ エピソード①

ユーザーから、「新たな障害者福祉施設へのルートを知りたい」という要請でフォローアップ。触地図を用いたルートの説明を行い、歩行指導をしました。後日、ユーザーから「一人で行ってきました」と嬉しいような電話がきました。

ユーザーと指導員 フォローアップ エピソード②

初めは「どうしたらいいですか?」という質問が多かったユーザーが、フォローアップを重ねていくことで「私はこうしたい。そのために今回はこのようにやったけど他にどのような方法がありますか?」というように、自ら目標を立てて取り組む姿勢になってきた様子を見て、嬉しく感じました。

フォローアップの目的は、盲導犬との歩行や生活をより良くするための技術、知識向上のためであり、問題を解決するためのフォローアップよりも向上のためのフォローアップを積極的に行えるよう、指導員達は日々ユーザーに寄り添い、より効果的なフォローアップの方法を模索しています。



現場指導員達の声

・フォローアップの時には、あえて指導員は姿を隠してユーザーと盲導犬の歩行をチェックすることもあります。普段の歩行に近い状況を確認する為です。

・日頃からユーザーとコミュニケーションを取る方法の一つとして、盲導犬の誕生日にユーザーへ電話をし、一緒に祝うとともに、最近の様子などを確認しています。その際の何気ない会話の中で、まだ問題とは言いえない、小さな事柄に対応することができます。

フォローアップでは盲導犬の健康状態も必ずチェック

体型や爪の伸び具合、毛艶、耳、眼、その他怪我やしこりがないか、また盲導犬の予防接種や検診等も行っているかなどもチェックし、ユーザーが盲導犬の健康管理を適切にできているかを指導員が確認します。



ハーネスを外す日

盲導犬は10歳前後を目安に引退します。10歳という人間でいえば60歳程、ほとんどの犬はまだまだ元気な年齢ですが、盲導犬の体調と双方の安全を考慮し、少し早目に引退をさせます。引退した盲導犬はボランティアの家で家族の一員として楽しく暮らしたり、育った協会で十分なケアを受けながら、最期まで皆に愛されて幸せに過ごします。



爆睡中...zzz

キャリアチェンジ

訓練の過程で盲導犬には向いていないと判断された犬は一般の家庭に家庭犬として引き取られます。この他、盲導犬の啓発の場でデモンストレーションを行うPR犬や手足の不自由な方をサポートする介助犬として活躍する場合があります。犬たちがそれぞれの性質にあった環境、一番幸せに暮らせる進路で暮らすことになります。

盲導犬はいつでも、どこでも一緒です



2003年10月、身体障害者補助犬法が全面施行されたことにより、レストランや病院、ホテルなど不特定多数の人が利用する施設や乗り物等に、ユーザーが盲導犬を同伴して利用することが法的にも認められました。盲導犬とそのユーザーは、国家公安委員会が指定する盲導犬育成団体で十分な訓練を受けています。またユーザーは、盲導犬と一緒に社会参加をする上で、常日頃から盲導犬の手入れや健康管理を怠らず、マナーにも注意を払っています。盲導犬と一緒に特別な施設や準備などは必要ありません。

盲導犬を同伴しての視覚障害者の受け入れ促進に、温かいご協力をお願いします。

補助犬OKの気持ちはステッカーで表示を

全国盲導犬施設連合会では、盲導犬や介助犬、聴導犬を受け入れることを示していただくための「補助犬同伴可ステッカー」を作成しています。このステッカーを店頭に貼っていただくことにより、一般のお客様に補助犬に対する理解を深めていただくとともに、盲導犬ユーザーなどに安心して各施設をご利用いただけることを趣旨としています。

「補助犬同伴可ステッカー」についてのお問い合わせは全国盲導犬施設連合会にお電話(03-5367-9770)、もしくは当連合会ホームページをご覧ください。

OK!



<補助犬同伴可ステッカー>

盲導犬ユーザーからのメッセージ

親兄弟が元気なうちに自立したい。そんな想いから盲導犬ユーザーとなりました。エールと一緒に外出する機会も増え、おしゃれも楽しめるようになりました。中でも晴眼者でも難関と言われるケアマネジャーの試験や、全盲の受験者が居るかわからないと言われた介護福祉士の試験にエールと共に受験し、合格出来た時は嬉しかったです。



安藤ルミ子さん&盲導犬エール (岡山県)

頼れる存在が常に傍にいる安心感

協会の指導員の方は常に私とエールに寄り添ってくれていると感じています。困った時にはいつでも容易に連絡が取れ、「一人ではない。頼れる存在がいる」という安心感が常にあります。以前のフォローアップで、晴眼者の方や獣医さんですら気が付かなかったエールの舌の色の变化に、指導員の方がすぐに気が付いてくださった事があります。犬のことをよく知っている指導員さんだからこそ気づいてくださったことであり、エールに対して、さらに適したケアをできるようにになりました。また、毎年エールの誕生日には「おめでとう」と指導員の方が電話をくださり、協会にとっても自分自身にとっても、パートナーのエールは大切な家族だと改めて再認識しています。

心を照らす盲導犬

盲導犬は視覚障害者を安全に誘導するだけでなく、心を支えてくれる太陽の役割もしてくれています。盲導犬が心に寄り添ってくれることが、どれだけ元気と勇気を運んでくれるかは、ユーザーでないとわからないかもしれません。眼の前が真っ暗な全盲ユーザーの心は、パートナーが運んでくれる太陽でいっぱいになります。どうか皆様、優しい眼で私たちを包んでください。

視覚障害者

盲導犬と一緒に道に迷うことがあります。白杖で歩いている方を含め、視覚障害者の方が困っている様子を見かけたら、ぜひ人の方へ「お手伝いしましょうか」と声をかけてください。視覚障害者の方は、困っていても周囲に人がいるのか判断することが難しいので、声掛けは「大きなお世話なのでは」「余計なおせっかいかも」と思わずに、周りの人の方から視覚障害者の方へお声掛けをいただくと助かります。



1 視覚障害者への援助について

援助を申し出ていただく場合は、まず援助が必要かどうかをたずねてください。たずね方としては、「お手伝いしましょうか」、「どちらの方向に行きますか」、などのように声をかけてください。黙っていきなり視覚障害者の腕や白杖、盲導犬のハーネスをつかむことは絶対にしないでください。また、「今は必要ありません」と断られた場合、それ以上は援助を申し出る必要はありません。本人の意向を尊重してくださるようお願いいたします。

2 説明と誘導について

視覚障害者に方角や場所をたずねられた場合は、「あっち」、「こっち」、「もう少し」という言葉ではなく、相手から見て「右、左、前、後、約〇〇メートル」、又は時計の文字盤にたとえて「何時の方向に」などと、具体的に説明してください。視覚障害者を誘導した場合は、別れる際に現在の位置と方向をはっきりと伝え、「それではさようなら」と、あなたが離れることを声かけした上で離れてください。



全国盲導犬施設連合会では、各種商業、公共施設で盲導犬ユーザーへの対応方法をご案内する冊子、盲導犬ハンドブックを発行しています。詳しい内容は当連合会のホームページをご覧ください。

へのサポート

3 手引きで誘導するときの基本姿勢と誘導のしかた



基本姿勢

狭い場所での誘導

① 誘導者は、視覚障害者が白杖または盲導犬のハーネスを持っていない側の斜め半歩前に立ち、視覚障害者には後ろから誘導者のひじや肩を軽くつかんでもらってください。

② 狭い場所や人混みの中を通る場合はその旨を伝え、誘導している腕を背中に回し、視覚障害者に自分の一歩後ろに入ってもらい、前後に体が重なる形をとってください。

③ 道路を横断する場合は、たとえ信号が青でも一旦停止し、声を出してその旨を伝えてください。段差や階段がある場合も一旦停止して「上り(下り)の段差があります」「階段です。上がります」と歩く状況を伝えてください。

④ 乗り物を利用する際には手すりや座席の位置を、トイレに案内するときにはトイレトーパーやレバー、洗面所の位置など必要となる部分を、また、ドアを通過する時や車に乗車する際には、視覚障害者がぶつかりそうな場所を直接手で触れてもらって確認してもらってください。



緊急時！ 視覚障害者に注意喚起する時は

まずは「止めて」ください

「下がって」だけでは、視覚障害者の方は、どの方向へ下がればいいのか分からず、危険な方へ行ってしまう可能性があります。緊急時は、①まずその場で止める、そして②視覚障害者側の進行方向から見て、右なのか左なのか、前進なのか真後ろに下がるのかを伝えてください。

「あなたに呼びかけています」ということを伝えてください

「危ない!」、「止まって」と言われただけでは、視覚障害者の方は誰に呼びかけているのかがわかりません。「盲導犬をお連れの方、止まってください」、「白杖の方、動かないで!」などと、視覚障害者の方へ「自分に声をかけられていること」が伝わるように、呼びかけてください。

あと一歩進んだら駅ホームから落ちてしまう!! そんな時はやむを得ない緊急事態ですので、視覚障害者の方の身体をつかんで止めてください。

募金箱設置・寄附協力企業

敬称略・あいうえお順

- イズミヤ(株)
 - (株)エコス
 - (株)銀座マギー
 - ジェームス
 - (株)ダイエー
 - (株)フジ
 - (株)マスタ
 - メットライフ生命保険(株)
 - (株)ヨークマート
 - (株)和真
- (株)イトーヨーカ堂
 - (株)音通
 - (株)ゲオ
 - (株)たいらや
 - フェリシモ基金事務局
 - (株)ベルシステム
 - (株)明光ネットワークジャパン
 - ユニー(株)
 - (株)LIXILビバ

以上の企業様のほか個人店舗設置の募金、企業や大勢の個人の皆様のご寄附・ご協力により、当連合会の活動は支えられ、運営されています。

皆様からお寄せいただく募金・寄附は、盲導犬無償貸与事業にかかる費用として役立てられる他、盲導犬訓練士の資格認定、全国的なイベントでの啓発活動など、盲導犬事業上、共通に関わる費用として、活用させていただきます。



盲導犬と歩くユーザーに出会ったら 皆様への大切なお願い

盲導犬は工作中、白または黄色のハーネスをつけています。



ユーザーの方へ声をかけてください

盲導犬を連れていても道に迷ったり、周囲の状況が分からず不安になる場合があります。ユーザーが困っている様子を見かけた際は、盲導犬ではなく、ユーザーの方に「何かお手伝いしましょうか」とお声掛けをお願いします。

ハーネスをつけた盲導犬は「工作中」です。

盲導犬はハーネスをつけている時は仕事に集中しています。さわったり声をかけたりしないようにお願いします。また、さわらなくても犬の目をじっと見つめるのもやめましょう。気が散ってユーザーを安全に誘導できなくなってしまいます。

盲導犬におやつなどの食べ物をあげないでください。

盲導犬は、健康管理のため、そしてトイレのタイミングをコントロールするために食事の時間・量も決まっており、犬の体質に合ったドッグフードを、ユーザーが与えています。「かわいい」と思っても食べ物を与えないでください。

無断で盲導犬やユーザーの写真、動画などを撮らないでください。

ユーザーは視覚に障害がある方ですので、突然近くでシャッター音がすると何を撮っているのかわからず不安になります。また、ユーザーが写り込む場合は本人のプライバシー侵害の恐れもありますし、カメラのシャッター音やフラッシュにより、盲導犬が仕事に集中できなくなる可能性もあります。盲導犬の写真を取りたい場合は、ユーザーに事前に声をかけ、了解をとってください。

パトラッシュの募金箱。
全国各地で活躍中!



©NIPPON ANIMATION CO., LTD.

パトラッシュ基金

全国盲導犬施設連合会と日本アニメーションが発足した「パトラッシュ基金」では、募金箱の設置、チャリティーオークションの開催、各種イベントでの募金活動、インターネット募金の受付などの活動を行っております。詳しくは公式サイト、もしくは全国盲導犬施設連合会までお問い合わせください。

日本アニメーション株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-11-14 uhb ビル
TEL 03-3574-6281 (平日 10:00~16:00)

公式サイト www.nippon-animation.co.jp/pattrash/



メットライフ生命は 1995 年以來、
盲導犬育成活動を支援しています。

 **MetLife**
メットライフ生命

いい明日へ、ともに進んでゆく。

www.metlife.co.jp

平成
29年度

全国盲導犬施設連合会 主な活動報告



「盲導犬普及啓発活動」を日本全国で49回実施

多くの皆様へ盲導犬について知ってもらうために全国各地へ出向き、盲導犬の仕事や訓練方法を紹介するイベントを実施しました。(主に募金箱設置店や寄附協力企業のご協力により開催)



ダイエー補助犬ふれあい教室 (株式会社ダイエー)



エコ博 (ユニー株式会社)



交通安全。アクション(日本自動車会議所)



盲導犬ふれあい広場 (株式会社フジ)

パトラッシュ基金 ~活動報告~



平成29年度も、インターネット募金受付、各種イベントでの募金活動を実施しました。パトラッシュ基金にご協力くださった皆様、ありがとうございます。(写真はユニー様のエコ博会場にて)

盲導犬受入の促進



お店の出入口等に貼ってもらい、補助犬とユーザーの受け入れをスムーズに実現していただけるように「補助犬同伴可ステッカー」を配布しました。

認定NPO法人全国盲導犬施設連合会には、日本全国の盲導犬協会8団体(PI3~PI4参照)が加盟しています。皆様からお寄せいただいた募金・寄附は日本全国の盲導犬育成と普及の為に、大切に活用させていただきました。

盲導犬普及を進める広報誌を発行



「DUET26号」とポスターを発行(年1回)。

DUET26号では、ユーザーの安心安全な歩行を実現する為に、周囲からの積極的な声掛け依頼を発信しています。募金箱と一緒に常設する他、各種イベントで配布しました。

「盲導犬情報」を発行(年2回)。

盲導犬ユーザー、点字図書館、行政などへ盲導犬に関する情報を提供する為の冊子です。点字版、CD版の他、墨字(活字)版も発行しています。



全国盲導犬施設連合会ウェブサイトでも閲覧可能!

全国盲導犬連合会

検索

盲導犬訓練士・歩行指導員の資格認定



全国どこの盲導犬協会でも同じレベルの盲導犬を輩出できるように、全国盲導犬施設連合会では訓練士と歩行指導員の資格認定をしています。筆記試験・実技審査の結果、平成29年度は2名の歩行指導員の資格を認定しました。

皆様のご支援・ご協力で平成29年度の事業を行うことができました。誠にありがとうございました。

盲導犬育成費用への助成



盲導犬育成費用に対する自治体からの助成金には頭数・金額に限りがある為、盲導犬協会が視覚障害者の方へ盲導犬を貸与する場合、全国盲導犬施設連合会から一部補助として、1頭ごとに200万円の助成・補助を実施しています。(平成28年度は23頭分を助成)

盲導犬育成ジャパンセミナーの実施



各盲導犬協会の訓練士等が、現場での事例や研究成果を発表する「第3回盲導犬育成ジャパンセミナー」を実施。互いの知識を学び合う事で、良質な盲導犬の育成と視覚障害者の自立支援へ向けた、研鑽の場となりました。

国家公安委員会指定 加盟施設一覧



認定NPO法人

全国盲導犬施設連合会

HPアドレス: www.gd-rengokai.jp
〒162-0065 東京都新宿区住吉町5-1 吉村ビル2階 TEL 03-5367-9770 FAX 03-5367-9771

公益財団法人 関西盲導犬協会

会長 濱本 捷子 HPアドレス: www.kansai-guidedog.jp

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼末ヶ谷18-2
TEL 0771-24-0323 FAX 0771-25-1054

世界的にも稀な木造犬舎「木香テラス」では、より家庭に近い環境の中で盲導犬を育成しています。木香テラスで育った盲導犬とともに、視覚障がい者が安全に歩行し、安心して暮らせるよう、盲導犬の育成、社会への啓発活動に積極的に取り組んでいます。



社会福祉法人 日本ライトハウス

理事長 橋本 照夫 HPアドレス: www.lighthouse.or.jp

法人本部 〒538-0042 大阪府大阪市鶴見区今津中2-4-37
TEL 06-6961-5521 FAX 06-6968-2059

盲導犬訓練所 〒585-0055 大阪府南河内郡千早赤阪村東阪1202
TEL 0721-72-0914 FAX 0721-72-0916

「自立と社会参加のためのパートナーシップ」を基本理念とし、視覚などに障害のある方が、尊厳をもってその人らしい生活ができ、積極的に社会参加をすることを共通の目標として、活動しています。



社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

理事長 岸田 衛幸 HPアドレス: www.moudouken.org

〒651-2212 兵庫県神戸市西区押部谷町押部24
TEL 078-995-3481 FAX 078-995-3483

視覚障がい者が笑顔で安全に歩けるように、役職員一同、情熱を持って盲導犬育成に取り組み、盲導犬使用者それぞれのニーズに応じたサービスを提供しております。また、社会全体へ視覚障がい者や盲導犬への理解を深めて頂くために、地域の小・中学校や商業施設での啓発活動にも力を注いでいます。



公益財団法人 九州盲導犬協会

理事長 田中 久也 HPアドレス: www.fgda.or.jp

〒819-1122 福岡県糸島市東702-1
TEL 092-324-3169 FAX 092-324-3386

「良質な盲導犬を一日でも早く、一頭でも多く届けたい。」当協会創業以来の変わらぬモットーです。総合訓練センターでは、盲導犬使用者の皆様に快適にご利用いただける施設としてサービスの向上に努めてまいります。



公益財団法人 北海道盲導犬協会

会長 伊藤 信賢 HPアドレス: www.h-guidedog.org

〒005-0030 北海道札幌市南区南30条西8丁目1-1
TEL 011-582-8222 FAX 011-582-7715

最北端に位置する当施設は雪道歩行、在宅指導、老犬ホームなど、視覚障害者の支援と安心のために様々な取り組みに挑戦しています。待っている人達の笑顔のために、一刻も早く応えることが目標です。



公益財団法人 東日本盲導犬協会

代表理事 保坂 和夫 HPアドレス: www.guide-dog.jp

〒321-0342 栃木県宇都宮市福岡町1285番地
TEL 028-652-3883 FAX 028-652-1417

視覚障害者に対する地域リハビリテーションを重視し、地域に根ざした良質なサービス提供を心がけています。関東一円を中心に、盲導犬の育成・提供をはじめ、白杖歩行等の生活訓練も行っております。



公益財団法人 日本盲導犬協会

理事長 井上 幸彦 HPアドレス: www.moudouken.net

東京本部 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F
TEL 03-5452-1266 FAX 03-5452-1267

日本盲導犬 〒418-0102 静岡県富士宮市人穴381
総合センター TEL 0544-29-1010 FAX 0544-54-3030

神奈川 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町6001-9
訓練センター TEL 045-590-1595 FAX 045-590-1599

仙台 〒982-0263 宮城県仙台市青葉区茂庭字松倉12-2
訓練センター TEL 022-226-3910 FAX 022-226-3990

島根 あさひ 〒697-0426 島根県浜田市旭町丸原155-15
訓練センター TEL 0855-45-8311 FAX 0855-45-1139

1967年8月10日に厚生省の許可を受け、日本で最初に設立された盲導犬育成団体です。2017年に設立50周年を迎えました。4つの訓練センターの特色は、神奈川は訓練の中心地、仙台は視覚障がいリハビリ、富士宮は出産～引退犬まで一貫飼育、島根は受刑者のパピープログラムです。



社会福祉法人 中部盲導犬協会

理事長 殿塚 猷一 HPアドレス: www.chubu-moudouken.jp

〒455-0066 愛知県名古屋市中区寛政町3-41-1
TEL 052-661-3111 FAX 052-661-3112

「両手持ち」を特徴とした盲導犬の育成。かつて身を挺して盲導犬使用者を交通事故から守った盲導犬「サーブ」を育てる。視覚障害者の「安全なガイド」と「心の癒し」を保証するために日々努力しています。

